

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 シラバス

記 号	B2025KK72
課 程	昼間課程
所 属 科	美容科
教 科 名	化粧品化学
担 当 者	原田 怜
区 分	必修
授 業 形 式	講義
開 講 年 次	2年次（後期）
授業時間(単位)	30 時間 (1 単位)

教科書（発行所）	化粧品化学（社団法人 日本理容美容教育センター）
----------	--------------------------

授業の概要	美容の業務に関する化粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が化粧品に属するのか、その定義、社会的意識や特性、法的な根拠、製品の安定性含めた安全性を学ぶ。		
期末考査	習熟状況審査のため、期末に考査試験を実施するものとする。		
	時間	50 分間	
	内容	教科書の内容を中心に、教材プリントなどより出題する。	
	合否	100 点満点中 60 点をもって合格とする。	
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。		
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100 点    B:80~89 点    C:70~79 点    D:60~69 点    E:追・再試験合格者 F:59 点以下    放棄:0 点		

実務経験のある教員による授業	—				
実 務 経 験	—				
実務経験の活かし方	—				

**2025 度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画**

科 目	化粧品化学	担 当	原田 怜
-----	-------	-----	------

(2年次・後期)

回	講 義 内 容	備 考
1	第2編 化粧品 各論 第1章 スキンケア製品 1節 化粧品の効果と使用プロセス 2節 クレンジング用化粧品 3節 コンディショニング用化粧品	P97～108L10 1 コンディショニング化粧品の作用まで
2	3節 コンディショニング用化粧品 4節 トリートメント用化粧品	P108～118 2 機能性化粧水と化粧液まで
3	4節 トリートメント用化粧品	P119～127
4	第2編 化粧品 各論 第2章 メイクアップ製品 1節 メイクアップ製品の種類と剤形 2節 ベースメイクアップ化粧品 3節 ポイントメイクアップ化粧品	P129～137
5	4節 アイメイクアップ化粧品 5節 まつ毛ケア製品 6節 ネイルメイクアップ製品 7節 ネイルケア製品	P138～146
6	第2編 化粧品 各論 第3章 ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルプケア製品 1節 ヘアクレンジング用化粧品 2節 ヘアコンディショニング用化粧品	P147～155
7	3節 ヘアスタイリング料	P156～162
8	4節 パーマ剤	P163～171
9	5節 ヘアカラー製品	P172～182
10	6節 スカルプケア製品 第2編 まとめ及び期末試験対策	P183～186

B2025KK72

2025 度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	化粧品化学	担 当	原田 怜
-----	-------	-----	------

(2 年次・後期)

回	講 義 内 容	備 考
11	期末試験解説及び国家試験 第 1 章 化粧品概論～ 2 章 化粧品を使用する際に気をつけるべきこと、まとめ	P8～41 授業資料プリント
12	第 3 章 化粧品の成り立ち、まとめ	P43～95 授業資料プリント
13	国家試験対策	授業資料プリント 国家試験対策 練習問題
14	国家試験対策	期末試験問題用紙 国家試験対策用テキスト 国家試験対策 練習問題
15	国家試験対策	国家試験対策用テキスト 国家試験対策 練習問題

B2025KK72